

認定看護管理者カリキュラム基準

2018年3月9日改正

教育課程		ファーストレベル			セカンドレベル			サードレベル				
教育目的		看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。			看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。			多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。				
到達目標		1. ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。 2. 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。 3. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。			1. 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。 2. 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。			1. 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考察することができる。 2. 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。 3. 経営管理の視点に立ったマネジメントを展開できる。				
	教科目	単元	教育内容	時間数	教科目	単元	教育内容	時間数	教科目	単元	教育内容	時間数
1	ヘルスケアシステム論 I	社会保障制度概論	・社会保障制度の体系 ・社会保障の関連法規	15	ヘルスケアシステム論 II	社会保障制度の現状と課題	・日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の(財源)構造と推移	15	ヘルスケアシステム論 III	社会保障制度・政策の動向	・社会保障の将来ビジョン ・グローバルな視点から見た保健医療福祉 WHOの活動、国連SDGs等	30
		保健医療福祉サービスの提供体制	・保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム 地域共生社会			保健医療福祉サービスの現状と課題	・保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション等			看護制度・政策の動向	・看護制度の変遷と政策 ・看護政策に関する審議会・検討会 ・制度変化に伴う看護管理への影響と対応 ・看護戦略とパワーの活用 ・職能団体による政策への影響力	
		ヘルスケアサービスにおける看護の役割	・看看連携 ・地域連携における看護職の役割 ・保健医療福祉関連職種の理解 ・看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規 倫理綱領 看護業務基準			ヘルスケアサービスにおける多職種連携	・多職種によるチームケア提供の実際と課題			ヘルスケアサービスの創造	・ヘルスケアサービスのマーケティング ・社会的企業(ソーシャルエンタープライズ) ・NGO、NPOのヘルスケアサービス ・地域連携を基盤としたヘルスケアサービス ・在宅におけるヘルスケアサービス ・ヘルスケアサービスのシステム構築 ・看護事業の開発と起業 ・テクノロジーの活用	
2	組織管理論 I	組織マネジメント概論	・組織マネジメントに関する基礎知識 ・看護管理の基礎知識	15	組織管理論 II	組織マネジメントの実際	・組織分析 ・組織の变革 ・組織の意思決定	30	組織管理論 III	組織デザインと組織運営	・組織のデザイン ・組織間ネットワークのデザイン ・地域連携ネットワークのデザイン ・ダイバーシティ ・組織運営に必要な能力 ・経営者に求められる役割と必要な能力 ・組織戦略とパワーの活用 ・経営者としての成長と熟練	30
		看護実践における倫理	・看護実践における倫理的課題 ・倫理的意思決定への支援			看護管理における倫理	・看護管理における倫理的課題 ・看護管理における倫理的意思決定			組織における倫理	・組織における倫理的課題 ・倫理的課題に対する組織的対応	

教育課程		ファーストレベル			セカンドレベル			サードレベル					
	教科目	単元	教育内容	時間数	教科目	単元	教育内容	時間数	教科目	単元	教育内容	時間数	
3	人材管理Ⅰ	労務管理の基礎知識	・労働法規 ・就業規則 ・健康管理(メンタルヘルスを含む) ・雇用形態 ・勤務体制 ・ワークライフバランス ・ハラスメント防止	30	人材管理Ⅱ	人事・労務管理	・人員配置 ・勤務計画 ・ワークライフバランスの推進 ・ストレスマネジメント ・タイムマネジメント ・労働災害とその対策 ・労務管理に関する今日的課題 ・ハラスメント予防策と対応	45	人材管理Ⅲ	社会システムと労務管理	・賃金制度 ・人事考課 ・能力評価のためのシステムの構築 ・労働関係法規の最新の動向 ・建設的な労使関係の構築 ・人材フローのマネジメント ・ハラスメントの組織的対応	15	
		看護チームのマネジメント	・チームマネジメント ・看護ケア提供方式 ・リーダーシップとメンバーシップ ・コミュニケーション ・ファシリテーション ・准看護師への指示と業務 ・看護補助者の活用			多職種チームのマネジメント	・人的資源の活用 ・リーダーシップの実際 ・コンフリクトマネジメント ・看護補助者の育成						
		人材育成の基礎知識	・成人学習の原理 ・役割理論 ・動機づけ理論 ・人材育成の方法			人材を育てるマネジメント	・キャリア開発支援 ・人材育成計画						
4	資源管理Ⅰ	経営資源と管理の基礎知識	・診療・介護報酬制度の理解 ・経営指標の理解 ・看護活動の経済的効果	15	資源管理Ⅱ	経営資源と管理の実際	・医業収支 ・経営指標の活用 ・費用対効果 ・適切な療養環境の整備	15	資源管理Ⅲ	経営戦略	・医療経営の特徴と課題 ・医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション等の経営の特徴と課題 ・戦略策定	30	
										財務管理	・財務会計 ・管理会計 ・資金管理		
		看護実践における情報管理	・医療・看護情報の種類と特徴 ・情報管理における倫理的課題(情報リテラシー)			看護管理における情報管理	・看護の評価・改善のための情報活用			組織的情報管理	・関連法規の遵守 ・地域における情報共有・活用		
5	質管理Ⅰ	看護サービスの質管理	・サービスの基本概念 ・看護サービスの質評価と改善 ・看護サービスの安全管理 ・看護サービスと記録	15	質管理Ⅱ	看護サービスの質保証	・クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント	30	質管理Ⅲ	経営と質管理	・ガバナンスとアカウンタビリティ ・医療・看護の質とデータ活用 ・第三者評価	30	
						安全管理	・安全管理の実際 ・安全管理教育 ・法令遵守 ・災害対策			組織の安全管理	・安全文化の醸成 ・医療事故防止のための組織的対策 ・危機管理		
6	統合演習Ⅰ	演習	・学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する。	15	統合演習Ⅱ	演習	・自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する。	45	統合演習Ⅲ	演習	・学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画し実施する。 例1: 自組織について分析し、組織の改善計画を立案する。 または、トップとして組織を分析し改善計画を立案する。 例2: 保健医療福祉組織や看護の現状について、保健医療福祉に関する統計データを分析し、保健医療福祉サービス提供体制の改革ビジョンを策定する。 例3: 保健医療福祉に関する政策提言を行う。	45	
						実習	・地域連携を理解するための他施設実習を行う。 (実習施設は、受講者自身の所属種別以外の施設とする)			実習	・経営の実際を学ぶための実習を受講者自身が企画し実施する シャドウイング等		
計					105				180				180